

(お知らせ)

大飯発電所4号機 タービン動主給水ポンプの試運転中の警報の発信について

平成24年7月8日

関西電力株式会社

大飯発電所4号機(加圧水型軽水炉 定格電気出力118万キロワット、定格熱出力342万3千キロワット)は、再稼動に向けた作業中(タービン動主給水ポンプの試運転中)の平成24年7月8日11時35分に、中央制御室で、「情報伝送盤軽故障」警報が発報しました。

警報は11時38分に消灯しています。

この警報は、4号機のタービン動主給水ポンプ(A)試運転における運転操作において、試運転に伴い発生していた警報のリセット操作を11時35分に行ったところ発報したものです。

なお、発電所内において、異常は確認されておりません。

警報が発報した原因については現在調査中です。

なお、本件は、保安規定上の運転上の制限を満足しており、法令に基づくトラブルには該当せず、現在行っている再稼動に向けた作業とも関連がなく、今後の同作業への影響はありません。

また、本事象による環境への放射能の影響はありません。

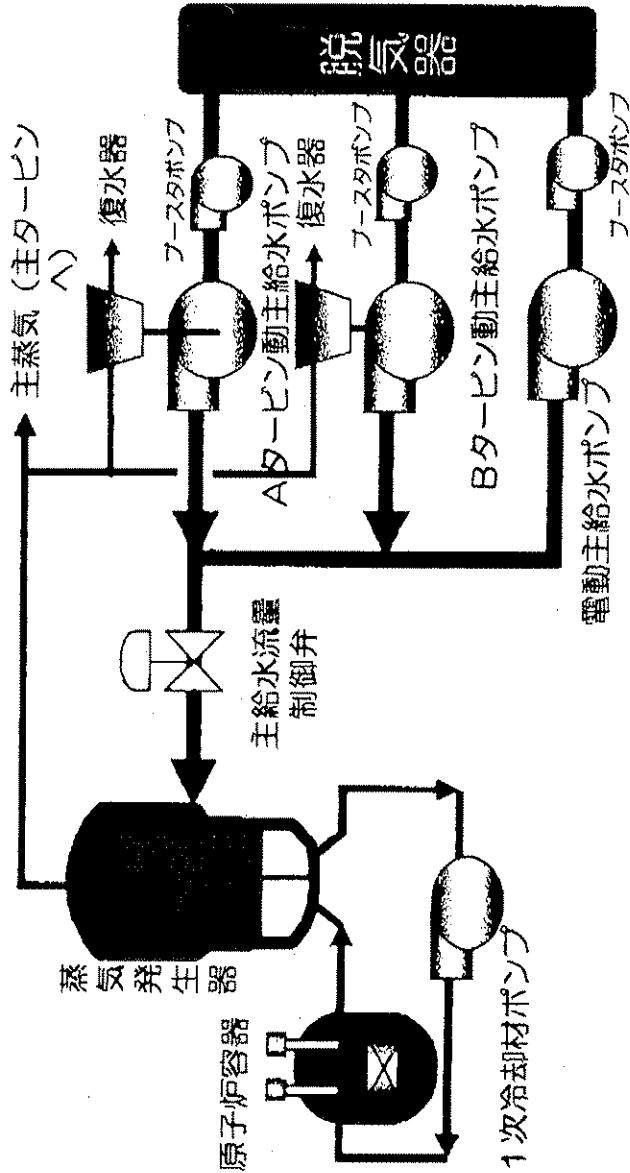
以上

タービン動主給水ポンプ

蒸気発生器に給水するためのポンプとして、タービン動主給水ポンプ2台、電動主給水ポンプ1台が設置されている。

プラント起動初期には、タービン動主給水ポンプ1台で蒸気発生器へ給水されている。電気出力上昇に伴い、蒸気発生器の給水流量が増加するため、タービン動主給水ポンプを1台追加し、2台運転としている。

(プラント通常運転においては、電動主給水ポンプは予備機(待機)である。)



タービン動主給水ポンプ仕様	容量：4280m ³ /h	全揚程：580m
電動主給水ポンプ仕様	容量：3310m ³ /h	全揚程：620m